

こころん だより

2021
夏号
Vol.17



こころん



特集1

「誰もが楽しむことのできる
高知県観光」を目指して
～バリアフリー観光の推進の取り組み～

特集2

こころんの
社会見学

アートでつなごう! 共生社会
～芸術を通じて“違いを受け入れる心”を育む～

「誰もが楽しむことのできる高知県観光」を目指して ～バリアフリー観光の推進の取り組み～

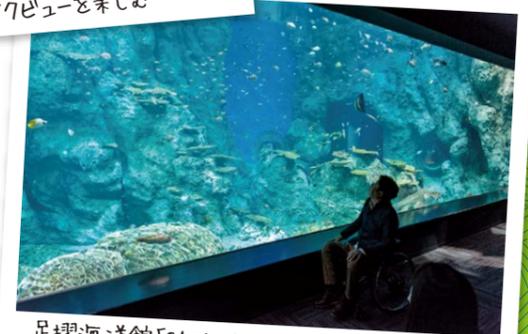
文：高知県 観光振興部 おもてなし課



早明浦のレイクビューを楽しむ



ウェブサイトから、体験レポートの一部をご紹介します！



足摺海洋館「SATOUMI」で海の豊かさを感じる



7リマカヤックに乗って仁淀ブルーを堪能

ハード面だけでなく、人的サポートなどソフト面のバリアフリー情報も掲載されています。



はじめに

2021年4月1日に改正バリアフリー法が施行され、国は、高齢者や障害者が円滑に移動できるよう、対策が遅れている地方の鉄道の駅やバスターミナルで、エレベーターやスロープの整備などに力を入れることにしています。

高知県においても、高齢者や障害者などの多様なニーズを踏まえた受入環境の整備を進め、「誰もが楽しむことのできる高知県観光」の実現を目指し、バリアフリー観光の推進に取り組んでいます。

平成30年度より、県内の観光施設、宿泊施設、交通機関の現地調査を行い、施設の段差やスロープの有無、障害者用トイレの設備状況などについて確認するとともに、バリアフリー化に向けた啓発や情報提供なども行っています。

高知県バリアフリー観光相談窓口

2020年6月に「高知県バリアフリー観光相談窓口」を県内2か所に設置しました。高齢で歩行に自信のない方、お子様連れの方、車いすを利用されている方、視覚や聴覚に障害がある方など、誰もが安心して高知県内の旅を楽しんでいただけるよう、観光案内所や福祉関連事業者などとも連携して、皆様の旅行に関する困りごとに合った情報提供やご相談に応じるための窓口です。

「バリアフリールームがあるホテルはどこか」「障害があるが親子で旅行をしたい。おすすめの場所を教えてください」「〇〇に行きたいが授乳室はあるか」など様々な相談が寄せられています。

旅行に行きたいと思ってもなかなか踏み出せない方々の不安を少しでも解消できる窓口を目指していますので、ぜひお気軽にご相談ください。



とさでらす窓口



京町窓口

ウェブサイト「高知のバリアフリー観光」

相談窓口の開設とあわせて、県内の観光施設、宿泊施設、交通機関についてのバリア情報やバリアフリー情報、おすすめコースなどを掲載したウェブサイト「高知のバリアフリー観光」も立ち上がっています。

情報は施設別に掲載されており、行きたいエリアや知りたいバリアフリー情報を選んで検索をすることができます。また、障害等の有無に関わらず気軽に参加して楽しむことのできる「旬のおすすめコース」や「アクティビティ」の情報なども見ることができます。

今後もこうした情報を順次追加し、充実させていきますので、お出かけや旅行の判断材料としてぜひご活用ください。



「高知のバリアフリー観光」ウェブサイト
<https://kochitourism-barrierfree.jp>



高知県バリアフリー観光相談窓口

窓口所在地	受付時間	連絡先
京町窓口 高知市はりまや町1-1-24 (タウンモビリティステーションふくね内)	月曜日～日曜日 9:00～17:30 (年末年始を除く)	高知県バリアフリー観光相談窓口 TEL: 088-824-0227 090-1329-2939
とさでらす窓口 高知市北本町2-10-17 (高知観光情報発信館とさでらす内)	土日・祝日等 9:00～17:30 (年末年始を除く)	FAX: 088-813-0254 E-mail: info@kochitourism-barrierfree.jp

アートでつなごう! 共生社会

～芸術を通じて“違いを受け入れる心”を育む～

知的障害や精神障害のある作り手による芸術作品の展覧会や、障害のある人を含む多様な個性を持つ人々が協働で創る演劇プロジェクトなど、多彩な芸術活動を展開する「藁工ミュージアム」。その取り組みについて、こころんがお話を聞いてきました。



◀ お話してくれた人
藁工ミュージアム
学芸スタッフ 松本 志帆子 さん



展覧会の様子 ◀ 左:主に高知の障害のある方の作品を紹介する「ちいさな蔵の展覧会」
写真:織田庸三 ▲ 右:東日本大震災や防災を考える展覧会「10年目の今考える」

新しいアートの 発信・交流拠点を目指す

「アール・ブリュット」はフランスで生まれた言葉で正規の美術教育を受けていない人が自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した「生(き)の芸術」を意味します。藁工ミュージアムは、このアール・ブリュットを主に紹介する美術館として2011年に開館しました。建物は、かつて浦戸湾と城下を結ぶ運河であった江ノ口川沿いに建つ藁の保管倉庫を改修したもの。開館時に移転してきた多目的ホール「蛸蔵」や併設飲食店もあわせて「アートゾーン藁工倉庫」と総称しています。美術館、ホールとして芸術文化の発信や地域課題に向き合うほか、障害のある人の就労支援事業所としても機能しており、様々な人やアートの交流拠点となることを目指しています。

アート活動1:ちいさな蔵の展覧会

福祉施設などで創作活動に励む アーティストの作品を紹介

高知県には四半世紀の歴史を持つ「スピリットアート(高知県障害者美術展)」があり、県内の福祉施設や病院などでも創作活動が盛んです。そんな中から気になる作家さんを取り上げ紹介するのが、「ちいさな蔵の展覧会」のシリーズ。これまでに4回、計11人のアーティストの作品を展示し、「独自の世界観に感動した」、「自分の抱えている生きづらさが少し解放された気がする」など大きな反響をいただいています。



開徳由理
左から「シャドーマン」「よさこい」「モナリザ」
写真:織田庸三



防災をテーマにした
展覧会は継続的に
開催しているんだって。

清岡 明 「自主防災組織結成悲願(ら・ら・らホーム周辺)
と笛を吹く美女ステewardess」 2016年

アート活動3:ワークショップ

防災やワークショップで 地域とつながる

美術館は地域のために何ができるのか?—そんな問いから始まったのが、様々なワークショップ。町ぐるみで取り組んでいる「防災」をテーマに創作体験を企画したり、幅広い世代の交流を目指して子ども向けイベント「工作広場」や、「蛸蔵」と協働し一帯で夏祭りを開催したり。地域の様々な課題に対してアートでアプローチするのも、私たちの大事な役割だと思っています。

みんなが共に生きる社会へ

藁工のアート活動の中では、いろいろな個性や幅広い世代の人、芸術のあらゆるジャンル、団体・組織などが出会い、結びついていきます。それは私たちの目指す理想——「共生社会」につながるものです。違いを排除せず受け入れることのできる土壌を、ここから創っていきたく考えています。



アート活動2:演劇プロジェクト

いろいろな人が協働し、演劇を創作

2017年にスタートし、4年がかりで取り組んでいるのが演劇創作プロジェクトです。演劇は絵画などと違い、多くの人が関わり合って一緒に創り上げていく芸術。そこで、障害の有無に関わらず多様な人が交わり合って作品を創ることで、新しいアートや価値の発信につながるのではないかと考えました。題材は「星の王子さま」。地域から出演者を募集し、共感してくれた20~60代の13人が、活動拠点を「蛸蔵」に置く劇団「シアターTACOGURA」のアーティストと一緒に脚本づくりから演技まで取り組んでいます。大事にしているのは“違いを認め、違いを楽しむ”感性。7月に上演予定です。

発見こころん
公演についてのお知らせはこちら!

「祝祭音楽劇 小さな星の王子さま」
上演:2021年7月30日(金)、31日(土)
場所:高知県立美術館ホール
詳しくはWebで↓



藁工ミュージアム

住所/高知市南金田28 アートゾーン藁工倉庫
TEL/088-879-6800 FAX/088-879-6800
HP/https://warakoh-museum.com/
開館/10:00~18:00 原則火曜日休館 ※詳細はお問合せください

美術や芸術など自分たちのまわりにある「おもしろい!」を感じ、創り、楽しむ小さな美術館。レストラン「土佐バル」、多目的ホール「蛸蔵(運営サポートNPO蛸蔵)」の3施設でアートゾーン藁工倉庫を形成。全体の運営はNPOワークスみらい高知が行っている。



活用してね！ 人権研修の講師を派遣します

高知県人権啓発センターでは、県内で実施される人権研修に講師を派遣しています。

講師料 無料

人権研修のための **出前講座** 講師がお伺いします！
講師派遣料 **無料**

県内のあらゆる集まりに **ご活用下さい！**

職場 地域 PTA

人権問題に関心がある
人間関係を良くしたい
自分を高めたい
教育の一環に取り入れたい

まずはお気軽にご相談下さい！

高知県人権啓発センター
高知市本町4-1-37 TEL(088)821-4681

■ 派遣先は？
企業(介護施設、医療関係、運輸関係、製造業、保険会社など)や市町村、国の機関や公社などの公的団体、PTAなどが実施するさまざまな研修や学習の場に派遣を行っています。



■ 研修後の感想

すごく勉強になりました。「相手の大事にしているものを大事にする」という言葉は、すごく胸に響きました。それは大事なことだと思いました。人としてしっかり生きていきたいと思いました。(介護職員)

近隣住民同士の声掛け、あいさつ等小さなことでも大切なことで、そういった試みが相談しやすい環境をつくる第一歩だと思いました。今後、子育てをしていくうえで、事前を知っておくべき内容だと思ったので、学ぶことができてよかったです。(市民向け講座参加者)



▶ 研修の依頼方法は？

まずは電話にてご相談ください

088-821-4681
〈受付時間〉月～金 8:30～17:15 (祝祭日・年末年始を除く)

電話にてご相談

依頼内容の決定

申込書の送付

原則 研修1ヶ月前までに

実施要項・申込書はホームページに掲載しています。
※交通費(旅費)は、原則として実費をご負担いただいておりますが、どうしても困難な場合はご相談ください。
※依頼が研修予定日直前になると対応が難しくなります。できるだけ余裕をもって依頼をお願いします。

募集 令和3年度人権ふれあい支援事業について

高知県内のNPO、ボランティア団体及び民間の団体等(PTA、町内会、老人クラブなど)地域で活動している団体や企業、事業所を含む)が人権意識の向上を目的とした事業を行う場合、その経費について予算の範囲内で支援をしています。

本年度は、より多くの皆様に利用していただけるよう、新たに事業区分を設け、5万円以下の事業については全額(支援対象外経費を除く)を支援させていただきますことになりました。

【事業区分】 次の区分により申請を受け、支援対象事業及び支援金額を決定します。

区分	支援金額・支援率
① 申請金額が5万円以下の事業	全額 (支援対象外経費を除く)
② 申請金額が5万円を超える事業	1事業当たり上限20万円 / 支援対象経費の80%以内

【支援決定】 審査会の審査を経て、8月上旬に通知します。 ※令和3年度予算総額120万円

【募集期間】 6月21日(月)～7月21日(水)

「事業実施要領」及び申請書はホームページよりダウンロードできます。詳細をご確認の上、申請書を郵送またはご持参ください。

「部落差別をなくする運動」強調旬間 7/10～7/20

7/15 高知会館(白鳳) 14:00～16:00 ※開場13:30～

講演会「部落問題の現在とこれから 一部差別解消推進法をふまえて」

講師 内田 龍史 氏 関西大学社会学部教授

会場 高知会館(白鳳) (高知市本町5丁目6-42/TEL 088-823-7123)

参加費無料 手話通訳あり 定員150名(要申込)

主催：高知県・高知県教育委員会・(公財)高知県人権啓発センター

映画「心の傷を癒すということ<劇場版>」上映会

8月1日(日) 13:30～15:40 ※受付13:00～

令和3年度 人権啓発研修 第1回ハートフルセミナー

会場 高知県立人権啓発センター6階ホール 参加費無料 定員150名(要申込)

〈作品紹介〉 世の中は心の傷に満ちている 誰も、ひとりぼっちにさせへん

阪神・淡路大震災発生時、自ら被災しながらも、他の被災者の「心のケア」に奔走した若き精神科医・安克昌氏。手探りながらも多くの被災者の声に耳を傾け、心の痛みをともに感じ、寄り添い続けた日々。震災後の心のケアの実践に道筋をつけ、日本におけるPTSD(心的外傷後ストレス障害)研究の先駆者となった。本作は、在日韓国人として生まれ、志半ばでこの世を去った精神科医・安氏の遺族関係者への取材をもとにしたオリジナルストーリー。2020年1月にNHKでドラマ化された本編を劇場版として再編集した。

出演：柄本 佑 尾野 真千子 濱田 岳 森山 直太朗 他

上記については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止または内容を変更する場合がございます。

お申込み・お問合せは…

公益財団法人 高知県人権啓発センター 〈開所時間〉月～金 8:30～17:15 (祝祭日・年末年始を除く)

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440 Eメール center@kochi-jinken.or.jp

【申込方法】 電話・FAX・Eメールなどで、以下の情報をお知らせください。
氏名/参加人数/代表者の連絡先(日中に連絡の取れる電話番号かメールアドレス)

じんけんライブラリー情報

「じんけんライブラリー検索」はこちら

所蔵図書・DVDの検索ができます。ぜひご利用ください。
http://www.kochi-jinken.or.jp/lib/

じんけんライブラリーでは、図書(専門書からコミックまで幅広く所蔵)やDVD・VHS、人権啓発パネルの貸出を行っています。

新着図書紹介

イラストで学ぶジェンダーのはなし みんなと自分を理解するためのガイドブック
アイリス・ゴットリーブ イラスト・文 野中 モモ 訳 (フィルムアート社)

女の子だから、男の子だからをなくす本
ユン・ウンジュ 文 イ・ヘジョン 絵 すんみ 訳 (エトセトラブックス)

ネット中傷 駆け込み寺
佐藤 佳弘 スマイリー キクチ 著 (武蔵野大学出版部)

新着DVD紹介

ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～
(34分/法務省人権擁護局/(公財)人権教育啓発推進センター) 隔離政策によって偏見や差別に苦しみがら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録。

NEWS

1



令和3年度の人権啓発ポスターができました!

人権は、一人ひとりが人間らしく生きていくために、生まれながらにして持っている大切な権利です。「人権を、一人ひとりの心で育みましょう」というメッセージが込められています。

NEWS

2



New! 「人権コラム集~心呼吸~」

令和元年度から令和2年度にかけて高知新聞に掲載した「人権啓発シリーズ集」(様々な人権に関するコラム) 14回分と、「こころんだより」の特集記事を収録しています。ぜひご活用ください。

【掲載内容】

- ・なぜ部落差別は残るのか (角岡伸彦)
- ・犯罪被害者の生活取り戻す (高橋敦子)
- ・「他・多」を受け入れる (シヨーン・パーゴイン)
- ・「子どもの人権」を守るとは? (高祖常子)
- ・なくそう!職場のハラスメント (廣瀬真理)
- … など

☆ご希望の方にはお送りします。ご連絡ください。

ご利用案内

6F

ホール (収容人員 270名 机併用の場合は180名)

講演会、研修等のイベントにご利用ください。

利用時間 9:00~21:00 (年末年始を除く)

ホールをリニューアルして室内が明るくなりました。Wi-Fiも使えます!

基本使用料(平日)			平日時間外	土・日・祝祭日
午前	午後	全日		
9:00-12:00	13:00-17:00	9:00-17:00	1時間あたり	
8,650円	11,570円	18,210円	4,330円	

- 冷暖房使用料… 1時間 / 620円
- 時間区分には、準備・片付けに要する時間を含みます。



6F ホール

5F

じんけんライブラリー (利用無料)

人権に関する図書、視聴覚教材、パネルの貸出を無料で行っています。ホームページ内の「じんけんライブラリー検索」では人権課題別の蔵書検索もできます。

利用時間 月曜日~金曜日(祝祭日・年末年始を除く) 9:00~17:00

- 利用方法
- 初回ご利用の際に、利用カードを発行します。
 - 直接ご来館できない場合は、送付もいたします。(送料は利用者負担)

	図書	ビデオ・DVD	パネル	団体図書
貸出限度	5冊以内	2本以内	3セット以内	50冊以内
貸出期間	2週間以内	2週間以内	1ヵ月以内	1ヵ月以内



団体図書貸出(こころんブック便)について

小・中学校、高等学校ほか、地域や団体、イベント開催などにあわせて、様々な人権問題についての図書の団体貸出を行っています。ご希望の図書について、お気軽にご相談ください。



5F じんけんライブラリー



1F 入口看板

4F

視聴覚室 (利用無料/収容人員 48名)

人権に関する研修等にもみ使用できます。

「こころん」は高知県人権啓発センターの
マスコットキャラクターです
★着ぐるみの貸出もしています



公益財団法人

高知県人権啓発センター

ホームページ: www.kochi-jinken.or.jp

Webで情報発信中!



●とさでん交通 バス・路面電車「高知城前」で下車・徒歩3~5分

[事務局] 〒780-0870 高知県高知市本町4丁目1番37号 高知県立人権啓発センター 5階
TEL: 088-821-4681 / FAX: 088-821-4440 / E-Mail: center@kochi-jinken.or.jp
(開所時間) 月~金 8:30~17:15 (祝祭日・年末年始を除く)

令和3年6月発行(年4回発行)

発行:公益財団法人高知県人権啓発センター
制作・印刷:有限会社フアクトリー

こころんだより

vol. 17

2021 Summer